

# ピラミッド/Book

ぞう組: おおさい ちいさい  
(3匹のくま より)

今月のテーマ: 大きさ

きりん組: おおきさくらべ、ながさくらべ



3匹のくまと  
過ごしたよ!



らいおん組: みのまわりのものの  
おおきさとおもさ



おなじ?  
おおきい?  
ちいさい?



とうもろこしの  
苗も、おおきく  
なってきたよ!



## 年間テーマ活動

	テーマ	発達領域
4, 5 月	受け入れ 春	個人の発達 時間の理解
6 月	大きさ	考えることの発達
7 月	色と形	考える事の発達
8 月	水	知覚の発達
9, 10 月	からだ	空間の理解
11 月	交通	言葉の発達
12 月	衣服	言葉の発達
1 月	数える	考える事の発達
2,3 月	期待	時間の理解

「大きさ」のプロジェクトは、「大きいー小さい」だけでなく、「太いー細い」「長いー短い」「高いー低い」「広いー狭い」という概念を使ってまわりの世界を系統立てる事によって、私たちは物事の整理をしたり、順序づけたりしています。この物事の整理や順序立てる力は人としての基本的な能力です。

子ども達は遊びの中で順番に物を並べたりしようとする自発性を持っています。様々な素材や題材を使って分かりやすく大きさの概念を示す事で子ども達は楽しみながら考える力や算数を学ぶ為の準備となる能力を発達させる事が出来ます。

また、ぞう組、きりん組、らいおん組と3クラスの成長に合わせて徐々に「大きさ」のレベルの段階を上げながら能力を付けてほしいと思っています。

# ぞう組

## テーマ：大きさ

なんだろう？  
(方向づけ)



今月のテーマが大きさなので、ぞう組では『3匹のくま』を題材にしてみました。  
最初は、大きい・小さいの絵本を見て、どっちが大きいかな？と、サークルタイムの中で考えてみました。絵本には、色々な形の大きい・小さいが出てきたので、楽しく見ていましたよ！



ビーチボールとピンポン玉を使って、どっちが大きい？小さい？ということを1人ずつ持って分類もしてみました。「大きいからこっち」「この白いのは小さいかな？」と考える姿や、「このボール顔が隠れるで」と大きさで発見もしていました。

みてみよう  
(見本を見せる)



大きい・小さいを体で表現してみたり、大きい○と小さい○を使って製作もしました。「あおむしみたいに並べてみたよ」という子どももいました。紙を埋めつくすぐらい集中して貼り続けていましたよ！



3匹のくまさん達にどの大きさが合うかな？と、お皿・スプーン・布団・椅子を使って考えてもらいました。「大きいから大きいくまさんにした」など、何故その大きさにしたのかまで話してくれる子どもが多かったです。



どうしてそうなるの？  
(理解を広げる)



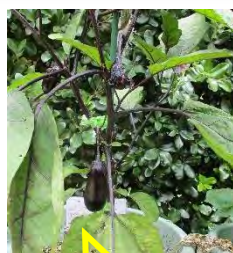
次に、くまさん達に服を着させてあげ、「～すぎる。」ということをしてみました。全部試してみても子ども達からは、「くまさんが大きいから小さいのは入らないね」「小さいくまさんには、大きすぎるよ」という話が出てきました。



園庭で遊んでいると「先生きて。」とこのマット、「これが大きくてこっちが中くらいだよ。」と大きさを意識して発見を喜ぶ姿も見られるようになってきました!

もっとしいたい  
(理解を深める)

部屋の中で大きい物・小さい物探しをしました。子ども達に持ってきてもらおうと、「このお皿が大きくて、こっちのお皿が小さい」「大きい積み木と小さい積み木を持ってきたよ!」と、大きい小さいを見つけてみんなに披露してくれました。



大きくなったナス



また別の日には、大きいくまさんより大きい物・小さい物をみんなで考えてみました。くまさんより大きい物は、棚や先生・天井があがり、くまさんより小さい物は1人ずつ持ってきてもらいました。ままごとのイスやブロック等「何が小さいかな?」と必死で考えてたくさん持ってきていましたよ!

部屋でしたことを引き続き、園庭でも大きい小さいや、中くらいを子ども同士でも話して、「あったよ」と教えてくれる姿が増えました。

# きりん組

## 【テーマ 大きさ】

なんだろう？  
(方向づけ)



大きい車と小さい車



おっきいね



部屋の中で大きいもの小さい物を探すとレゴブロック、絵本、車の玩具、ビーズ、フライパン、お皿、玩具のカゴ、お友達のコップ袋の大きさの違いまで様々なものを見つけました。

「これはながさがちがうね」と長さの違いにも気づいていました。普段は気に留める事も少ないですが部屋探検を通して大きさの違いがある事に気づきみんなで話をする事ができました。

大きい、小さい、普通があるね



みてみよう  
(見本を見せる)



赤ちゃんサイズはいらないよ～

前が見えないよ

背比べもしてみたよ  
おなじだね



きりん組のみんなが普段着ているお洋服と、赤ちゃん用のお洋服、大人サイズのお洋服を実際に着てみて比べてみました。赤ちゃん用のお洋服は「こんなの入らないよ～」と話したり大人用は「大きすぎる」「手が出ないよ」と話していました。リュックや帽子も比べてみると大きさの違いに気づき「ごはんいっぱい食べたらどんどん大きくなるもんね」と話しています。



おおきすぎるね

リュックも大きいね



**どうしてそうなるの？  
(理解を広げる)**



大きい小さいの他にも長い短いについてもっと知ろうと思い、アジサイを作りました。

紙テープを好きな長さに切り「どっちがながいかな」と話しながら自由にアジサイを作りました。

「みじかいのたくさん」と細かく切るお友だちもいれば長く切るお友だちもいたりと様々なアジサイができました。

梅雨の時期にしか咲かない花だよと話すと「すごいねきれいな花なのになずっとじゃないんだ」と話しています。



すきないろでつくるよ

これながいよ



ながい、みじかいだね



じょうずにできるかな



**もっと知りたい  
(理解を深める)**

おおきなどうぶつなに  
がいるかな



ずかんでみてみよう

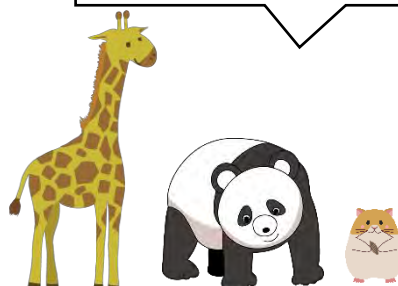
他にも大きいものや小さいものはないかと考え、動物の話をしました。自分たちより大きかったり、小さい動物はなにかと聞くと次々に言葉が飛んでいました。「そう、きりん、らいおん」「ハムスター、ねずみ、リス」など様々でした。

昨年の遠足も思い出し「チンパンジーおおきかったな」と話していました。

自分たちで図鑑を見て「これも大きい動物だね」と話して発見を広げています。

園庭で大きいもの小さいもの探しもしました。「滑り台おおきいよ」「フラフープの大きさもちがう」「はっぱもみて」とたくさんの発見をすることができました。

どの動物がおおきい？



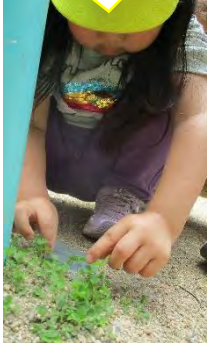
滑り台って大きいね



# らいおん組 テーマ ～大きさ～

1 なんてだろう  
(方向づけ)

これ！  
低い！



長いなあ～！



こっちにしたら…

## 大きい？小さい？

里芋の親芋が届いたので植える前に、親芋の大きさ比べをしました。小さいものから順に“それより大きい物”を見つけて並べてみました。手で大きさを比べるうちに、「こおむきにしたらこっちが大きいけど、こおむきにしたらこっちの方が大きい」と親芋の向きを変えることで大きい方が変わってくることに気付く子もいました。大きさ比べから、らいおん組の“大きさ”のプロジェクト活動がスタートしました。



## 《高い・低い》《長い・短い》ものを、グループで見つけよう！

床や配膳台、園庭の門などの《長いもの》を見つけたり、《高いもの》ではピアノ・木、中には“園舎と木とどっちが高いかな？”と悩むグループもありました。グループ内で個々に探す中で、友だちが見つけたものと自分が見つけたものとを比べて「こっちの方が長いなあ」と自然に比べている姿もありました。最後に各グループが見つけたものを紹介し長さを測ったテープで比べると「木は天井につくやん」「部屋、めっちゃ長い」と改めて感じている子どもたちでした。短い物はほとんどのグループが“アイロンビーズ”でした。

## 重いものと軽いものをわけてみよう！

「ピクニックに何持っていく？」と子どもたちに聞くと、「水筒」「お弁当！」「シート」等次々に答えが返ってきました。そこで、それぞれ大きさ・重さが違うお茶やお弁当、そしてリュックサックも用意しました。《大きくて重たい物は大きいリュックサック》、《小さくて軽い物は小さいリュックサック》に入れることにしました。

すると、大小違いのあるものを手に取って重さやその違いを感じていたり、「こっちは重い」「軽いからこっち」「めっちゃ大きい」等、“重い・軽い”の言葉が自然と出ていました。

大きい物いっぱい  
すぎて、入ら  
ないなあ



小さいお弁  
当やから小  
さいリュッ  
ク



めっちゃ軽い  
な！



重たいなあ



## 重すぎる！軽すぎる！

荷物を全部入れた大きいリュックサックを実際に背負ってみました。すると大きいリュックサックは「めっちゃ重たい」「重たすぎる!!」、という事になり、「ちょうどいい重さにするには、どうしたらいいかな？」と考えました。「リュックの中の物を少なくしたらいい」という意見が出たので、少なくする事にしました。子どもたちでどれを減らすか考えながら、「うん！それがいい」と友だちの考えに共感したり、「タオル減らしたら？」と聞くと「軽すぎるから」としっかりと《重たい物》を選択していました。

中身を減らし再度リュックサックを背負ってみると、「軽くなった」「ちょうどいい」と、重さやその違いを体感していました。

### 3 どうしてそうなるの (理解を広げる)



頭の所なんか大きい！



### 1 番重いのはどれかな？ 1 番軽いものはどれかな？

大きなブロック・絵本・ままごとコーナーの調味料・ハンドタオルなどを用意し、子どもたちとどれが1番重たいかな？と予想してみました。「大きいからこっち（ブロック）の方が重たい！」と予想する子が多かったのですが、中には「穴が開いてるから軽いと思う」と言う子も。ところが…調味料とブロックを比べると、ブロックの方が軽く子どもたちも「あれっ？」という様子でした。遊びの中でも、おもちゃを次々と天秤に乗せ、「（ままごとコーナーの）電話が一番重たい」「本が重いんちゃう？」と比べる事を楽しんでいました。ままごとコーナーの人形を比べると「女の子が重たい！」と違いがある事を発見！！あれこれ触るうちに頭の部分に違いがある事を発見すると共に、重さの違いに納得している様子でした。

こっちが軽い

こっちの方が重たい！



背の高さ比べてみよう！



同じになった！！

### シーソーで遊んだよ！

少し足を伸ばして、シーソーのある公園に行ってきました。友だちと一緒に乗ったり、1人ずつ乗ってみたい…。最初は「〇〇ちゃんの方が重いな」「あっちは上がってるから軽い」と話していたのですが、重さだけではなく「〇〇ちゃんの方が大きいからちゃう？」と背比べをする姿もありました。また、座る場所の違いに気づく子もいて、座る場所が変わると《重い・軽い》が変わることも発見していました

### 4 もっと知りたい (理解を深める)



### 大きい物は重い？小さい物は軽い？

前回大きいリュックサックが重すぎたので、今回は大小4つのリュックサックに荷物を分けてを用意しました。そして、子どもたちにどれが1番重くてどれが1番軽いかを予想してもらいました。リュックサックの大きさや膨らみ方で予想する子が多い中、「振って見たらわかる」「持ってみないとわからん」という言葉が出てきました。そこで順番に背負ってみると、予想通りだったり違ったり…。重さの順位をつけると、1番重い物と軽い物ははっきりわかったのですが、1番軽い物より少し重い物と、1番重い物より少し軽い物の意見が分かれてしまいました。悩んでいると、天秤を使ったらわかる事に気付く子がいて実際に測ってみる事で重さの順番がはっきりとわかりました



重 ← 軽  
《大きさと重さは違った！》

### 『とまとさん』を読んで…

トマトとプチトマトの落ちる時の音に違いがあったので、それがなぜなのか子どもたちと考えると、「大きさが違うから」「トマトは重いけど、プチトマトは軽いから」という気づきがあり、実際に重い物と軽い物を水の中に落としてみました。最初は目を閉じて音だけを聞いてみました。大きい物は「ドン」って音がしたのですが、軽い物は聞き取れず、目を開けてタイミングをつかんで聞くと「ピチャッ」って音がしたとわかりやすかったようです。目を開けてみると、《重い物は沈んで軽い物は浮いた》《重い物の時は水がピューッと上に上がった・軽い物は水がちょっとだけ揺れた》とさらに違いを感じていました。



### 先生の赤ちゃんの時の重さは？

担任2人と子どもたちも良く知っている安田先生と桜井先生の出生時の体重を砂袋でそれぞれ用意しました。子どもたちは、片手で持ってみたり、赤ちゃんを抱くように抱えて持ったりしながら重さを感じていました。また、重さの違いを感じると、「これは軽いからきよか先生かな？」「重たいからやすだ先生ちゃう？」と考えている姿もありました。1番重いのが安田先生で1番軽いのが桜井先生だと伝えるとビックリしている子もいました。赤ちゃんの時に小さくてもしっかり食べて遊んで寝てたら大きくなるね…と子どもたちとも話しました。



